

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信濃毎日新聞株式会社					
代表者名	氏名	小坂 壮太郎	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字南長野字南県町657番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	15 印刷・同関連業				
主たる事業の概要	日刊新聞発行・印刷					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,650	2,572	2,646	2,581	2,468
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,886	4,741	4,888	4,779	4,579
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	149		148	145	144
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	322				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

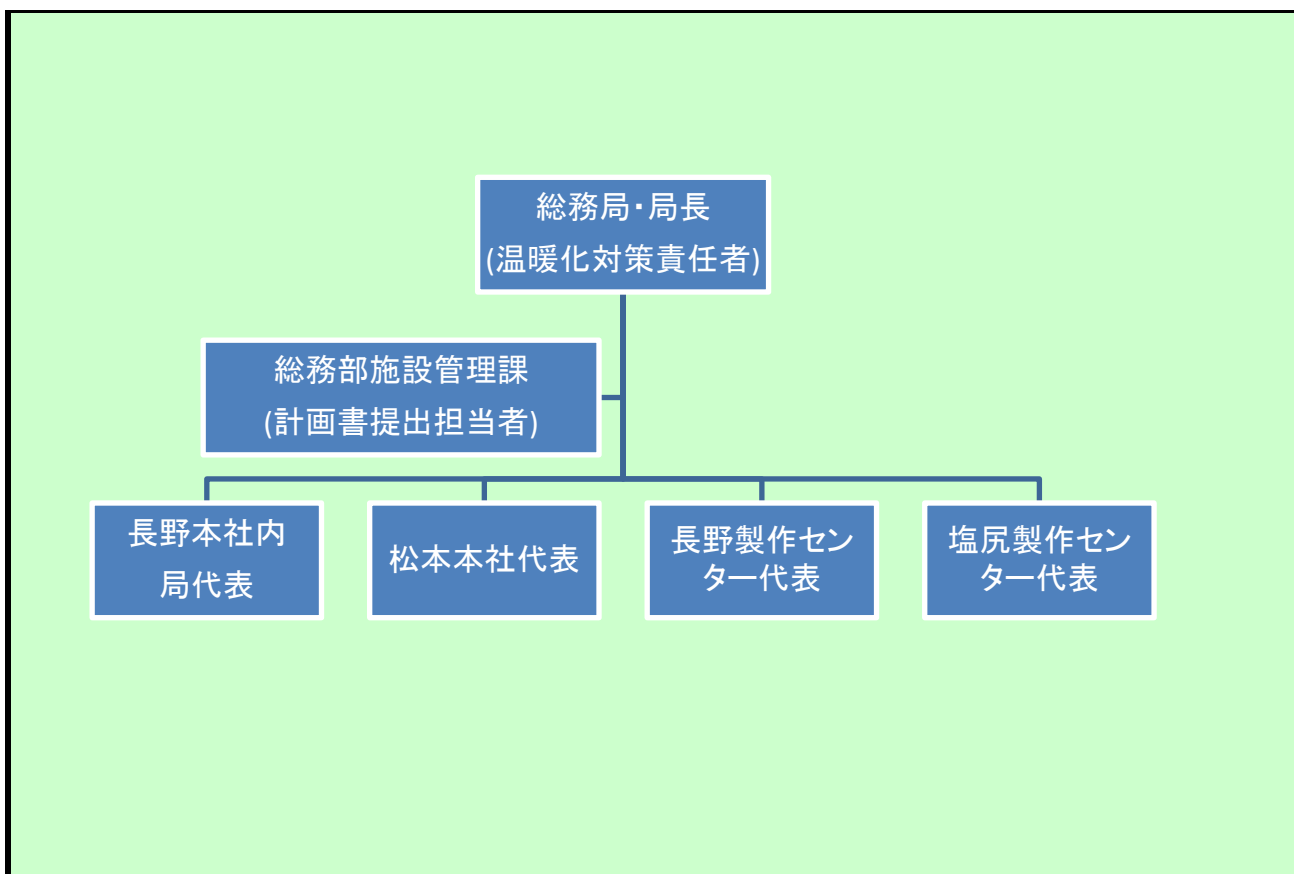
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	長野本社受付にて、問い合わせがあった際、開示する。 ≪連絡先 平日9:00～17:00 総務部施設管理課 (026) 236-3040 ≫
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

2019年度を基準に、2022年度において2.96%削減する。実使用量を前年対比1%マイナスを目標とする。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

特になし

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,886	t-CO ₂	建築延床面積	41.20	単位	千m ²
2019年度	調整後排出量	4,886	t-CO ₂	基準原単位	118.58	t-CO ₂ /	千m ²
目標年度	目標排出量	4,741	t-CO ₂	目標原単位	115.07	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	目標削減率	2.96	%	目標削減率	2.96	%	
目標設定に関する説明	前年対比1%削減を3年間継続するとした削減率。						
第一年度	排出量	4,888	t-CO ₂	建築延床面積	41.33	単位	千m ²
	削減率	-0.05	%	原単位	118.26	t-CO ₂ /	千m ²
2020年度	調整後排出量	4,888	t-CO ₂	原単位削減率	0.26	%	
	削減率	-0.05	%				
排出量等の増減理由	支局の1拠点で老朽化した蛍光灯器具をLED化。印刷部門で輪転機稼働量が減少したが、長野本社でコロナ対策に必要な換気量を確保して室内空調したため電力が増加し、前年使用量に対して0.05%増加。						
第二年度	排出量	4,779	t-CO ₂	建築延床面積	41.31	単位	千m ²
	削減率	2.18	%	原単位	115.69	t-CO ₂ /	千m ²
2021年度	調整後排出量	4,779	t-CO ₂	原単位削減率	2.43	%	
	削減率	2.18	%				
排出量等の増減理由	印刷工場では、生産量の減少に伴う動力削減と、空調設備の設定改善による削減、生産設備の一部更新による圧縮空気使用量の減少などで削減。長野本社では、照明設備の全面更新による削減と、昨冬の厳冬対策などの空調調整による増加で相殺して増減なし。						
第三年度	排出量	4,579	t-CO ₂	建築延床面積	41.28	単位	千m ²
	削減率	6.28	t-CO ₂	原単位	110.93	t-CO ₂ /	千m ²
2022年度	調整後排出量	4,579	t-CO ₂	原単位削減率	6.45	%	
	削減率	6.28	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	印刷工場では、生産量の減少に伴う動力削減、長野本社では、照明設備の全面更新による削減。全社的に夏が前年比で気温が高かった影響を受け増加、冬の寒さが緩かった影響で減少傾向。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	322	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	380752	長野本社H f 蛍光灯のLED化	2020~ 2021	51.42	2021	90
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電設備	k w	139	0	139	139	139

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	24	4,886	24	4,888	23	4,779	23	4,579
合計	24	4,886	24	4,888	23	4,779	23	4,579

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)	15	24	25	28
合計	15	24	25	28
自動車総数	149	148	145	144
次世代車導入割合	10.1	16.2	17.2	19.4

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	特になし
自転車利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	新聞輸送車両による拠点間物流の実施

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

電力平準化対策として、長野本社では7~9月の平準化時間帯における熱源の運用を電気使用のヒートポンプ設備を停止し重油使用の冷温水発生器で運用した。(2022年は電力需給ひっ迫対策で13~20時に時間延長した。)

長野・塩尻の工場2拠点では7~9月の平準化時間帯において拠点の需要ピークではないものの潜熱蓄熱設備の放熱により電気使用のヒートポンプ設備を停止した。

新聞社全体の取り組みとして、環境関連イベント(信州環境フェア、NAGANO SDGs PROJECT)の主催の実行委員会へ参加、TOYOTA SOCIAL FES諏訪湖の水草回収主催。環境啓発記事、広告の掲載。新聞輸送車へアイドリングストップ、エコドライブの取り組みを徹底。